



今月の記事

入居と自律

先月からの愛の園

支える人々Part II

リレーエッセイ

7～8月の予定



園長
武藤直二

「入居」と「自律」

介護保険事業所である愛の園は、職員の職種や人数、設備や備品、運営方法などについて国の定める基準に従って整備し遵守していくことが求められています。

この基準において、従来からある特別養護老人ホームに対する基本方針は、「…入所者がその能力に応じた自立した日常生活を営むことができるようにすることを目指すものでなければなりません。」とされていますが、愛の園のようなユニット型の特別養護老人ホームに適用される基本方針では、「…入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援しなければならない。」と記されています。「入所」が「入居」に、「自立」が「自律」に置き換えられているのです。

「入居」という言葉からは生活の場所としての継続した住まい、という考え方がしっかり伝わってきます。入居者が主体的に住み生活しているのだということがより強調されています。

「自立」は「自分でできる」ことを、「自律」は「自分で決められる」ことを意味しています。できないことができるようになることは、ことに成長の過程においては大切な課題です。一方、愛の園での生活は、例えば何かの集いがあるときに、その集いに参加するかどうかは自分で決めて、会場へ自分で移動できないならば介助してもらえばよい、という考えです。自分の力で行くことよりも、ましてや介護上の都合よりも、自分で行くことと決めることが、「入居者一人一人の意思及び人格を尊重」した生活の姿といえます。「入居」と「自律」はユニット型施設での生活をはっきり表すキーワードとなっています。

他方、愛の園の入居者の7割ほどの方々は認知症その他の疾患により自分で意思決定することが困難となっています。こうした方々を含めすべての入居者の皆さんがそれぞれに、その人らしい生活を送っていただくため、必要な支援の在り方を考え続けていきます。



愛の園ギャラリーに新たな絵画をご寄贈いただき、1枚を1階機能訓練スペースに飾りました

先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



ボランティアのヨネクラさんとカブラをいろいろな形に積み上げたり崩したり、楽しいひと時を過ごしました。 6/7



2ユニットでたい焼きを作りました。出来立てを手に取り、「おいしいよ!」と喜んで食べておられました。 6/21



全国障害者スポーツ紀の国わかやま大会で使用されるマリーゴールドの苗を入居者の皆さんやボランティアの方々と一緒に植えました。 6/25



今年も山本祥子さんによる弾き語りコンサートが開かれ、綺麗な歌声と演奏に聴きいっておられました。 7/8



支える人々 Part II 「愛の園家族の会」

家族の会事務局長
千葉明大



昨年の敬老の日には、ちんどん屋さんがチランを配ってくれました

2008年に設立された「愛の園家族の会」は7年目に入っています。現在は32名の入居者ご家族の方々が参加され、入居者の皆さんにより良い生活を送っていただくために活動されています。

具体的には、愛の園での敬老の日の行事「一日我が家」においての催し物の企画や、各ユニットへの盛り花のプレゼントやクリスマスプレゼントの寄贈をしてくださっています。昨年は、2階フロアで使用するワイドテレビとDVDデッキをご寄贈いただきました。

6月20日(日)に2015年度家族の会役員会を開催されました。その際に、滝本秀暉会長から、今年度からは愛の園で用意すべき備品との区別をせずに、入居者の皆さんに使っていただけるものをプレゼントとして購入しようと

のご意見がありました。愛の園からのクリスマスプレゼントへの要望は慎重に検討していきたいと思います。

愛の園家族の会の役員の皆さんは、これからも入居者の方々が快適な生活を送ることができるよう、参加するご家族を増やし活動を広げていきたいと話しておられます。



プレゼントいただいたワイドテレビは機能訓練の際に多くの入居者の方達が視聴し楽しんでおられます

リレーエッセイ(35)「子供が野球部に入って」 介護職員 湊上巳喜

私には子供が4人います。上から中1、小4、小3の息子と4歳の娘です。

長男が中学生になり、テニス部に入ると言うから今日は見学に行ってくる、と言っていたので、帰ってきてから野球部に入ったと聞いた時はびっくりして、「なんで今さら!？」と聞いてしまいました。しかも、テニス部の見学には行かず野球部の見学にだけ行き、入部して帰ってきました。息子の仲の良い友達はみんな少年

野球からしてそのまま野球部に入ると聞いていたので、少しはもしかしたら野球部に入ると言うかと思っていましたが、入部して帰ってくるとまでは思いませんでした。

中学校から野球をするということは大変なことだと言いましたが、意思が固かったので野球道具も揃えました。やっぱり練習がきつみみたいで、朝練があるのに自分で起きられず、息子と友達を車で送り、夕方帰ってくるとドロドロの練習着を洗い、夕飯の後宿題の途中で必ず疲れて寝てしまうので終わるまで起きているのが私の日課です。しかも、小3の息子まで野球を始め、道具を揃えるのも大変だし、休みの日は練習や試合を観に行くので少ししんどいけれど、野球は好きな方なので少しずつ上達していく姿を見ることがこれからの楽しみです。

次回は2ユニットの原 義考さんをお願いします。



「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

7~8月の愛の園

- 12(日) 礼拝(聖餐式) おめかしクラブ
- 14(火) マリア会
- 15(水) 手芸サークル
- 16(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 17(金) 社協ボランティア来園
- 19(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
かき氷・綿菓子
- 21(火) ひまわり会
- 22(水) 歯科診療
- 23(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 24(金) 土用の丑の日「うなぎ丼」
- 26(日) 礼拝(聖餐式)
- 27(火) マリア会
- 30(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 2(木) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
夏祭り

編集者から

愛の園では、国体に引き続いて行われる「2015年全国障害者スポーツ紀の国わかやま大会」開催時に、来県者を綺麗な花を飾って出迎えようとの趣旨で行われている「花のリレー」の活動に協力することにしました。

愛の園に40基のプランターとマリーゴールドの苗が届きました。6月25日にボランティアの皆さん、入居者の皆さんと共に花の苗をプランターへ移し替える作業を行いました。この苗は各部署や入居者の皆さんが水やりをして、引き渡しとなる10月まで、綺麗な花を咲かせるようにお世話をしていきます。このマリーゴールドが綺麗に咲いて大会で飾ることができるように大切に育てたいです。(C)

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>